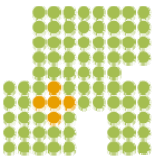


「平成27年度次世代地域リーダー育成プログラム ・上級段階科目の取組みについて」



1. 次世代地域リーダー育成プログラム



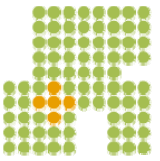
教育カリキュラム改革として、全ての学生が受講できる全学共通の教育プログラムを展開し、「次世代地域リーダー」を育成する。

<育成する人材像>

「岐阜を知り」、「岐阜の課題をみつけ」、「岐阜の課題解決に向けて行動する」能力を備え、グローバル化する現代社会の中で活動ができるグローバルな人間を育成する。

<称号>

プログラム修了者で修了後、一定の活動実績をあげた人に「ぎふ次世代地域リーダー」を授与する。



次世代地域リーダー育成プログラムの科目群

A) 地域志向科目群 (初級) (71科目) : H27年度より選択必修

全学共通教育および学部開講の地域志向科目

B) 地域活動科目群 (初級) (8科目) :

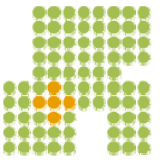
地域でのボランティア活動の単位認定

C) 地域実践科目群 (初級) (3科目) :

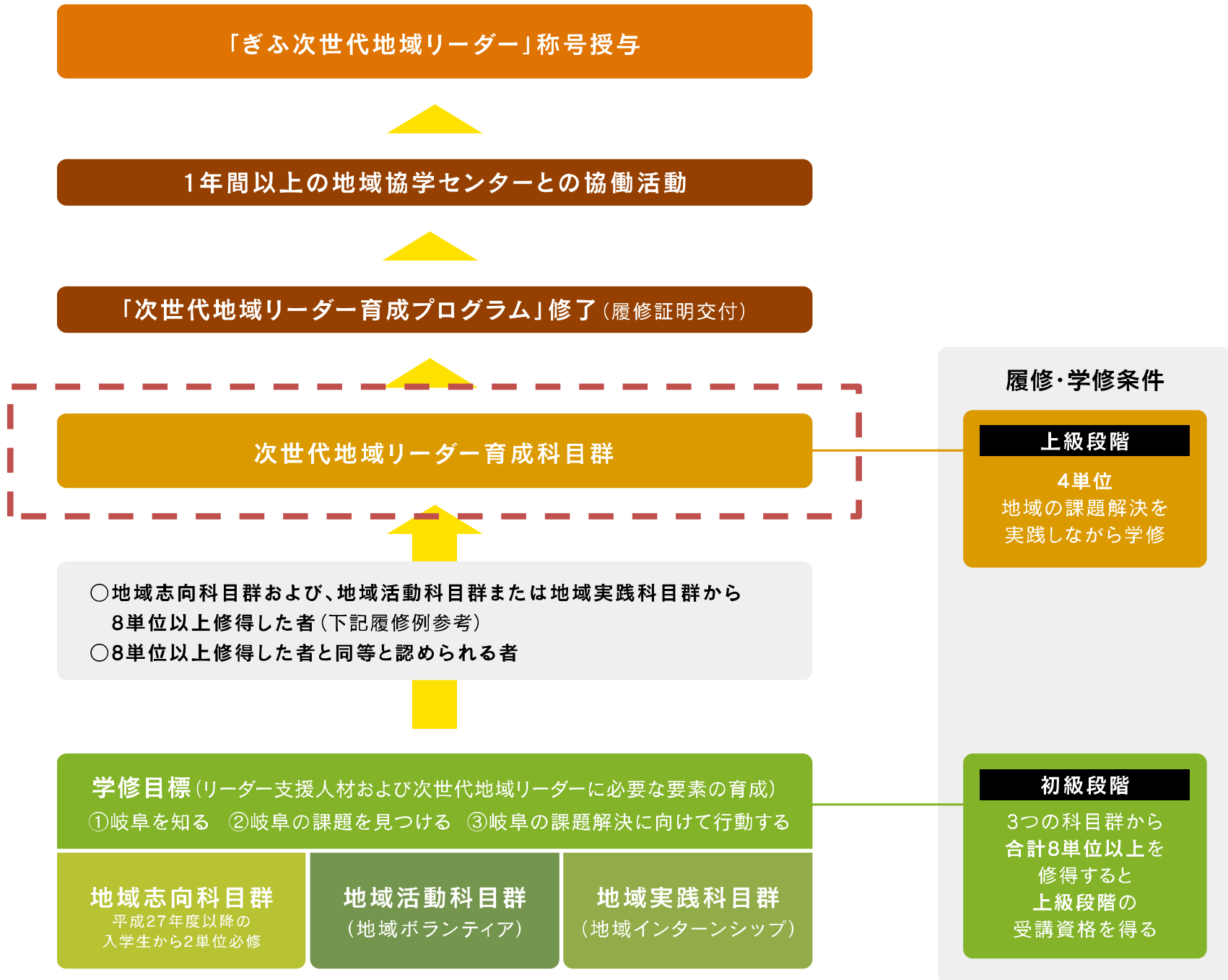
地域でのインターンシップ活動の単位認定

D) 次世代地域リーダー育成科目群 (上級) (2科目) :

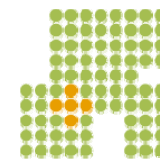
地域の課題解決に向けた実践的な活動



「次世代地域リーダー育成プログラム」履修プロセス



2. 上級段階科目「地域リーダー実践(上級)」の活動紹介



全学共通教育科目・次世代地域リーダー育成科目群
「地域リーダー実践(上級)Ⅰ」(前期)、「地域リーダー実践(上級)Ⅱ」(後期)」

<目的>

実際の地域の課題解決等に向けて実践的に取り組むことで、地域の中でリーダーシップを発揮できる人材、あるいはリーダーを支援する人材として必要な素養や能力を養う。

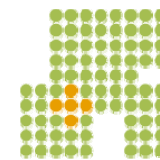
<受講要件>

「次世代地域リーダー育成プログラム」の上級段階の授業であり、同プログラムの初級段階で所定の単位を修得し、「地域リーダー実践(上級)Ⅰ、Ⅱ」の両方を受講することを条件とする。

<到達目標>

- ①「岐阜を知り」、「岐阜の課題をみつけ」、「岐阜の課題解決に向けて行動する」能力(地域リテラシー)を備えた人材となる。(「課題発見力」、「創造的思考力」、「論理的思考力」)
- ②主体的に活動し、地域の人々との協働やコミュニケーションを通して成長し、グローバル化する現代社会の中で活動ができるグローバルな人間となる。
(「傾聴力」、「発信力」、「状況把握力」)
- ③地域の中でリーダーシップを発揮できる人材ならびにリーダーを支援する人材となる。
(「計画力」、「実行力」、「管理力」)

2. 上級段階科目「地域リーダー実践(上級)」の活動紹介



郡上市白鳥町石徹白(いとしろ)地区をフィールドに実践

○2つのグループに分かれ石徹白に貢献できる取組みを企画・実施

Aグループ:

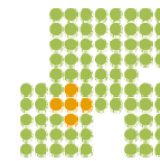
地域科学部2年・1人、教育学部3年・1人、工学研究科博士前期課程1年・1人

Bグループ:教育学部4年・5人

- グループワークで、学生が主体的に実践した。
- 地元でのフィールドワーク・事前調査、ヒアリングをとおして企画を立てた。
- 地元の方々との交流(お祭りや運動会に参加)をとおして、信頼関係を構築した。



2. 上級段階科目「地域リーダー実践(上級)」の活動紹介

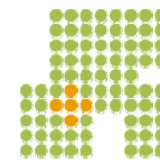


「石徹白のファンづくり、石徹白ウォークラリー」

- 岐阜大学生を対象とした石徹白のファンづくりを目指した企画を考えた。
- 石徹白の魅力を体験できるウォークラリーを実施した。(10月18日)
- 石徹白のファンづくりに成功、参加学生は石徹白にまた訪れたいと言っていた。
- 参加者の声「石徹白全体が私にとって珍しい土地だったので、全て新鮮でした。」



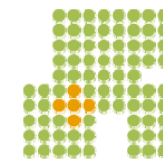
2. 上級段階科目「地域リーダー実践(上級)」の活動紹介



「石徹白ウォークラリー」企画概要

- ・対象: 石徹白のファンになってもらいたい学生(若者)
- ・課題: 人口減少(かつて約1000人、現在約250人)
⇒石徹白に人を呼び込む
- ・目標: 「また石徹白に行きたい!」と思ってくれるようなファンを作る
- ・調査: 石徹白を4回訪問し、地元での調査・ヒアリングを実施
- ・地域との連携: 現地のNPO法人の方々との支援獲得
 - 平野さん(地域協学センター現地コーディネーター・NPO法人地域再生機構)
石徹白の概要、行われている事業の説明。
準備合宿時のアドバイス。
 - NPO法人やすらぎの里(吉田さん・上村さん他)
準備: 石徹白の文化について説明。協力内容について相談。
当日: 参加者の方に石徹白のアテンド。

2. 上級段階科目「地域リーダー実践(上級)」の活動紹介

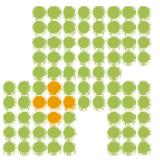


企画の実施(岐大生10人参加)

時間	流れ
10:00	石徹白到着
11:30~	中居神社見学・秋の例祭に参加
12:30~	上在所のお墓と小水力発電の説明を聞く
13:30~	石徹白ウォークラリースタート
15:15~	石徹白ウォークラリーゴール
11:45~	農村センターで発表・交流

○特定の学年に偏らず多様な学生が参加
合計10名:
1年生3人、2年生3人、3年生1人、4年生1人、院1年生2人





2. 上級段階科目「地域リーダー実践(上級)」の活動紹介

○アンケート結果

・満足度

とてもよかった 7人/10人、よかった 2人/10人 ※1人未回答

・また、石徹白に来たいですか？

はい 10人/10人

・SNSやメールなどで石徹白のイベント情報を受け取りたいですか？

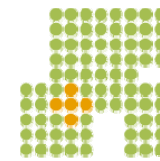
はい 8人/10人

石徹白という地域の
雰囲気良かった。

石徹白は自然と調和
している。



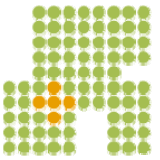
2. 上級段階科目「地域リーダー実践(上級)」の活動紹介



「秘密基地大作戦」

- 中一ギャップの解消を目指す。
- 郡上市白鳥中学校区の小学生6年生(6校)を対象とした友達づくりを企画する。
- 石徹白の森で、他の小学生と秘密基地を作りながら他校の子供たちと友達になる。
- 当日は生憎の雨であったが、石徹白小学校体育館でレクリエーションを実施(11/8)
- 5校から23人の児童が参加。
- 児童からは、「中学進学が楽しみになった」などの声があった。





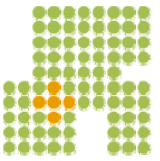
2. 上級段階科目「地域リーダー実践(上級)」の活動紹介

「秘密基地大作戦」企画概要

- ・対象: 郡上市白鳥中学校区の小学校6年生 (全6校96名)
- ・課題: 他学校の子どもと関わりがほぼない
⇒中1ギャップの解消
- ・目標: 子どもたち同士をつながりを作る
- ・調査: 石徹白を3回訪問し、地元での調査・ヒアリングを実施
- ・地域との連携: 地元住民との関係性を構築

石徹白小学校の校長先生の信頼獲得
郡上市教育委員会の協力と支援を獲得
郡上市白鳥校区の小学校すべてを訪問

秘密基地大作戦
参加費無料
11月08日(日) 09:00~12:30
申込用紙 担任の宛先に提出してください。すべて必須事項です。
児童氏名: _____ 学年: _____ 小学校: _____
メールアドレス: _____
住所: 〒 _____ 市 _____
連絡先(保護者の方の携帯電話): _____
集合場所(選択): 白鳥庁舎・道の駅白鳥・榎地
申し込み締切日
10月26日(月)

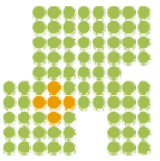


2. 上級段階科目「地域リーダー実践(上級)」の活動紹介

企画の実施～当日(雨天)の活動～(96人中23人が参加)

時間	流れ
9:00	集合・受付
9:15～	オリエンテーション開始
9:30～	レクリエーション開始
10:15～	しおりづくり開始
11:00～	昼食
11:45～	ふりかえり、解散

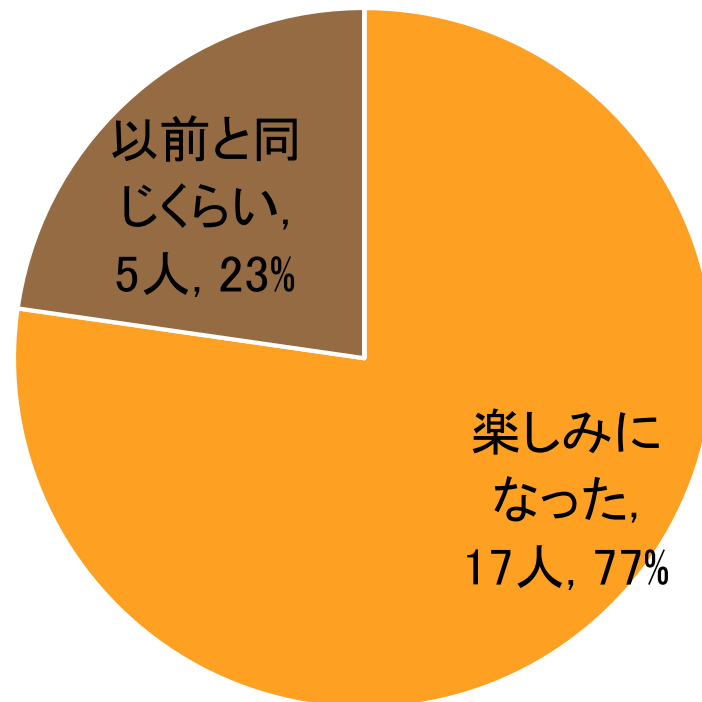




2. 上級段階科目「地域リーダー実践(上級)」の活動紹介

○アンケート結果

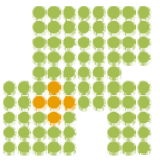
中学校に行くのが
楽しみになりましたか？



また中学校で会いたい

帰りたくない





3. 学生の学びと成長

<学生の主体的な学び>

- まちづくりの面白さを学んだ
- 様々な人の意見から視野が広がること
- 新たな視点を与えてくれるつながりの大切さ
- 信頼関係やチームワークの大切さ

<地域リーダーの素養の獲得と成長>

- グループ内で協働する力
- 傾聴力や状況把握力: 地元の方々とのコミュニケーションを図る力
- 課題発見力の向上: フィールドワークやヒアリングから地域の課題を発見、確認する力
- 企画・計画力、実行力の向上: 課題発見から実施に向けて実践する力
- 新たな取組みを実現する創造力
- 失敗から学び、再挑戦する力
- プレゼンテーション力の向上